

第2回 安曇野市防災会議 会議録

- 1 審議会名.....平成24年度 第2回安曇野市防災会議
- 2 日 時.....平成25年2月18日(月) 午後2時00分から午後2時50分
- 3 会 場.....県安曇野庁舎4階 401会議室
- 4 出席者.....大井委員、左近委員代理、北原委員代理、油井委員、小宮山委員、鳥海委員、中村(邦)委員、櫻井委員代理、寺畑委員、青柳(俊)委員、中島委員、澤海委員代理、上條委員代理、猿田委員代理、北澤委員、高井委員、青柳(政)委員、宮川委員
- 5 市側出席者.....宮澤市長、村上副市長、丸山教育長、宮田部長、中山部長、小倉部長、飯沼部長代理、松枝部長代理、大内部長代理、新家部長代理、中野部長、白澤室長、小口室長補佐、中澤主査、西牧主査
(株式会社ぎょうせい) 今中主任研究員
- 6 公開・非公開の別.....公開
- 7 傍聴人.....記者1人
- 8 会議録作成年月日.....平成25年2月25日

協議事項等

◇ 会議の概要

- 1 開会(白澤危機管理室長)
- 2 市長あいさつ(宮澤市長)
- 3 議事
(1) 安曇野市地域防災計画の修正事項(案)について
(2) その他
- 4 閉会(白澤室長)

◇ 詳細

1 開会(午後2時)

事務局：本日はお忙しい中、防災会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。平成24年度第2回「安曇野市防災会議」を開催させていただきます。

2 市長あいさつ

事務局：開会に当たりまして、本会議の会長でございます、宮澤市長よりごあいさつ申し上げます。

会 長：皆様、こんにちは。本日は安曇野市防災会議の開催に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。関係機関の皆様におかれましては、大変お忙しい中をご参集いただきまして、まことにありがとうございます。それぞれの立場で、日頃は市の防災・減災対策あたりましてご指導を頂き、ご尽力を賜っておりますこと、改めて感謝を申し上げます。今回は、前回の防災会議で申し上げました通り、東日本大震災をはじめ、福島原子力発電所事故、長野県北部、中部地震などの発生によりまして、防災対策へのさまざまな課題と教訓が浮き彫りとなってまいりました。災害対策の重要性が、再認識をされ、また市民の防災対策への関

心が高まっているところでございます。行政は、市民の安心安全を守る第一責任者として、災害時に迅速・的確な応急対策などの活動に齟齬を生じないように、関係機関の皆様方との連携を、日頃から密にしながら日頃からの備えを整えておくことが重要であると考えております。本日の防災会議では、前回ご審議をいただきました、原子力対策編の新設、火山対策の追記、女性の視点に立った防災対策の追記など、県地域防災計画との整合性を図りつつ、見直しを進めてきました、地域防災計画の最終案の提案をさせて頂くものであります。この計画は、当市の防災の基本的な方針や、対策を示すものであり、より実践的かつ効果的なものにしたいと考えております。委員の皆様方におかれましては、宜しくご審議の程をお願い申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

3 議事

(1) 安曇野市地域防災計画の修正(案)について

事務局：ありがとうございます。これより議事に入らせて頂きます。これよりの審議は、安曇野市防災会議条例第3条第2項によりまして、本会議の会長であります宮澤市長をお願いいたします。

会長：それでは、これより防災会議の議長を務めさせて頂きます。会議次第に沿いまして議事を進めて参ります。本日の議題1としまして安曇野市地域防災計画の修正(案)について、事務局から内容の説明をお願いします。

(資料により説明) 省略

会長：ただ今、事務局から安曇野市地域防災計画修正案について説明がありました。本件につきまして、ご意見・ご質問等ございましたら、お伺いを致します。

委員：P66の下から2行目、「安定ヨウ素剤の服用は、甲状腺以外の臓器への内部被ばくや、放射性ヨウ素以外の放射性物質による外部被ばくには防護する効果がないことに留意する。」ということですが、これでも間違っていないと思いますが、話の趣旨から言えばこれは「外部」であって「内部」被ばくではないのかなと思うのですが、またご検討頂ければと思います。

会長：外部被ばくではなくて、内部被ばくということですか。

委員：ヨウ素剤の効果の限界ということを行っている訳ですので、他の放射性物質による外部被ばくということもありうるわけですが、この場合は、体内に入った内部被ばくに対する効果と理解をしたのですが。

会長：事務局どうぞ。

事務局：確認でございますが、P66の下から2行目のなお書きですね。「なお安定ヨウ素剤の服用は、甲状腺以外の臓器への内部被ばくや、放射性ヨウ素以外の放射性物質による外部被ばくには防護する効果がないことに留意する。」というところではありますが、外部、内部という解釈で宜しいでしょうか。

委員：その方がすんなり流れるのかなと思ったところでもあります。

事務局：わかりました。また修正の方をさせて頂きます。

それでは内容的には、安定ヨウ素剤の服用は、甲状腺以外の臓器への内部被ば

くや、放射性ヨウ素以外の放射性物質による外部を、内部にして、内部被ばくに防護する効果がないことに留意する、という表現で宜しいでしょうか。

会 長：何か、ご意見があればお願いします。

委 員：安曇野赤十字病院です。委員さんのおっしゃる通り、内部被ばくの形の方が整合性はいいと思うのですが、ただ外部被ばくも一応入れて、両方併記の方がより分かりやすいと思います。

事務局：県にも確認をさせて頂きまして、表現の修正をさせて頂くということで宜しいでしょうか。

会 長：また、専門的なご意見をお伺い致しましたけれども、県との確認・調整をさせて頂くということで、お願いを致します。他にご意見・ご質問等ございましたらお願いを致します。

委 員：安曇野市社会福祉協議会です。P90の福祉避難所の件ですが、この電話番号が、73-7143が豊科生きがいデイサービスセンターのものでなかったりとか、三郷福祉センターのところの電話番号はデイサービスセンターの直通のもので、三郷福祉センターは77-8080であったりとか、の統一されていない気がするのですが。

事務局：ご指摘ありがとうございます。統一した方向で修正させて頂きたいと思います。

会 長：その場合ですね、統一は直通がいいのか、どの様な形が一番通じやすいのでしょうか。現場としては。

委 員：例えば、ここは、社協の豊科支所だという意味でいいですか。それとも、豊科デイサービスだけを言っていますか。

事務局：支所の方です。

委 員：そうしますと、豊科デイサービスセンターは、別の場所にありますので、安曇野市社協豊科支所だけでいいです。豊科デイサービスセンターだとまた違う電話番号になり場所も違います。

会 長：これは健康福祉部も関係すると思いますが、電話番号は、どこに統一したらいいですか。連絡がとれやすくて避難場所としての伝達ができるかということですが、いかがでしょうか。

委 員：(健康福祉部)社会福祉課です。P90の1番の旧豊科生きがいデイサービスセンターというのは、豊科高校の前のいわゆる旧豊科生きがいデイサービスセンターの所ですので、豊科支所の番号をお願いしたいと思います。三郷のデイサービスセンターは、三郷のデイサービスセンターを使用させて頂くので、デイサービスセンターの番号でいいと思います。他はこの番号でいいと思います。

会 長：宜しいでしょうか。

委 員：豊科デイサービスセンターは、無いということで削除ということで。旧デイサービスですので、豊科の本所にあるデイサービスセンターのことではないです。施設の名前を豊科デイサービスセンターにするということで。豊科デイサービスセンターと今回訂正がありました。今の豊科デイサービスセンターは使えませんので、豊科高校の前の支所の旧デイサービスセンター、生きがいデイをやっていたところです。

会 長：所在地の番地・電話番号など、正しいのか再検討、見直しをしてみてください。

事務局：わかりました。

会 長：他にございますか。それでは、ご質問・ご意見等を打ち切らせて頂きます。

ここで委員の皆さんにお諮りしたいと思います。今回の安曇野市地域防災計画の修正案につきましては、ただいま頂いた意見を参考にし、修正すべき所は修正をして成案とさせて頂きたいと思いますが、宜しいでしょうか。拍手をもってご賛同を頂きたいと思います。

(一同拍手)

会 長：ありがとうございます。異議なく成案とさせて頂きます。なお、修正案につきましては県の方へ報告をさせていただきます。次に議題「(2) その他です」が、委員の皆様から何かございましたら宜しくお願いを申し上げます。

(2) その他

委 員：松本地方事務所の所長の代理で参っております。今、地域防災計画を承認されたわけですが、県では平成 24 年度分の県の計画を明日、審議会に諮る予定になっています。それから、国の方でも、東日本大震災を踏まえた、国の防災計画の修正が、まだ 24 年度以降もあるということを知っておりますので、毎年毎年大きな修正も出てくるかと思えます。来年度以降も、国の防災計画の修正等を踏まえて、こまめに修正をして頂くように、ご要望させて頂きたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

会 長：他になにかございましたお願いを致します。宜しいでしょうか。ないようでございますので、事務局からなにかございましたらお願いを致します。

事務局：1 点お願いします。お手元に平成 24 年度安曇野市防災講演会のパンフレットをお配りさせて頂きましたが、PR をさせていただきます。防災講演会を 3 月 2 日(土)、午後 3 時から 4 時 30 分まで、豊科の公民館で、講師に、危機管理教育研究所代表の国崎信江さんをお招きして、演題としまして、「女性の視点で考える防災」という講演会を開催しますので、ぜひともご出席の方を宜しくお願い致します。

会 長：それでは、以上をもちまして会議を終了させて頂きます。立派な防災計画であっても、これからしっかり、日頃の防災訓練をしていかないと、有効に機能しないということになりますので、私どもとしましてもこれからしっかりと訓練等を、皆様方のご支援を賜りながら実施をして参りたいと思えます。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中をご審議を賜りありがとうございました。以上をもちまして、議事を終了致します。以下、事務局に進行をお願い致します。

4 閉会

事務局：はい。大変ありがとうございました。本日はご承認頂きました修正内容につきましては、速やかに県の松本地方事務所地域政策課を通じまして、県危機管理部の方にご報告をする予定でございます。また、修正作業の終了につきまして

は、3月末を予定しております。最終的な字句の修正等、すべて修正をしまして市のホームページへも掲載する予定でございますので、宜しくお願い致します。本日は、長時間にわたりまして、ご審議頂きまして誠にありがとうございます。以上をもちまして平成24年度第2回安曇野市防災会議を閉会させていただきます。委員の皆様におかれましては、今後とも安曇野市の防災行政に、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。本日はありがとうございました。

閉会 午後2時50分